

3.11メッセージ(2026)

明日、3月11日。2011年の東北地方太平洋沖地震の発生から、15年の歳月が流れます。震災はいまも続いています。

この未曾有の災禍により、15,901人の尊い命が奪われ、2,519人がいまなお行方不明となっています。多くの方々が家族を失い、日常は一瞬にして断たれました。

福島においては、原子力発電所の事故により、広範な地域で避難が余儀なくされ、帰還困難区域が今もなおあります。また、炉心の冷却機能が喪失され核燃料が溶融、落下し、800トンを超える固化した燃料「デブリ」が残存しており、廃炉は、2051年までかかると言われ、慎重な撤去が現在も続けられています。

一方、世界では、人の命を奪う戦禍が相次ぐとともに、自然災害もまた、人々の営みを容赦なく脅かしています。

私たちは、これらの事実を決して忘れることなく、失われた命に思いを寄せ、今を生きている私たちが、互いを大切に、支え合いながら明日への道を一歩ずつ進め、未来へ進むこと。

それが、過去から託された大切な、ゆるぎない願いだと思います。

どうか私たち一人ひとりが、希望と優しさを携え、その灯が君たちへ、そして、次世代へと確かに手渡していけますように。

これより、亡くなられたすべての方々に哀悼の誠を捧げ、静かに心をひとつにして、黙禱を捧げます。

3.11メッセージ(2026)❦

明日、3月11日。2011年の東日本大震災から、15年の歳月が流れます。❦
この未曾有の災禍により、15,901人の尊い命が奪われ、2,519人がいまなお行方不明となっています。多くの方々が家族を失い、日常は一瞬にして断れました。❦

福島においては、原子力発電所の事故により、広範な地域で避難が余儀なくされ、帰還困難区域が今もなおあります。また、炉心の冷却機能が喪失され核燃料が溶融、落下し、800トンを超える固化した燃料「デブリ」が残存しており、廃炉は、2051年までかかると言われ、慎重な撤去が現在も続けられています。❦

一方、世界では、人の命を奪う戦禍が相次ぐとともに、自然災害もまた、人々の営みを容赦なく脅かしています。❦

私たちは、これらの事実を決して忘れることなく、失われた命に思いを寄せ、今を生きている私たちが、互いを大切に、支え合いながら明日への道を一歩ずつ進め、未来へ進むこと。❦

それが、過去から託された大切な、ゆるぎない願いだと思います。❦

どうか私たち一人ひとりが、希望と優しさを携え、その灯が君たちへ、そして、次世代へと確かに手渡していけますように。❦

これより、亡くなられたすべての方々に哀悼の誠を捧げ、静かに心をひとつにして、黙祷を捧げます。❦

—— 黙 祷 ——❦